

# ウィークリーニュースレター34号 2024

## <いよいよ49期へ突入！>

8月より株式会社豊吉は49期へ突入しました。ひとえにお取引していただく皆様のお陰でここまで来ました。実は…私の年齢が9月9日で49歳です。つまり会社と私は同い年です。

## <あの曲で大きく売上が上がった>

私が生まれた昭和50年「およげ！たいやきくん」が大ヒットしました。販売枚数は現時点でも500万枚以上とされている空前の大ヒットです。すると日本中でたい焼きを販売したい人、会社が続々と現れます。そして株式会社豊吉はこの商流に乗り、大きく売上が伸びることになります。

## <あんこが在庫できないほど売れる>

この当時のたい焼きで使用しているあんこは輸入小豆を使用した糖度の高いあんこです。今の国産のあんこと比べても味はイマイチ。でもその当時は売れました。一斗缶(22kg)入りのあんこが1日100缶毎日入荷します。そしてその100缶のあんこは全てトラックに積まれて配達へ。倉庫にあんこが在庫できる日がありません。当時のトラックの台数は5台。今はハイエース1台…それだけドライバーさんも雇用していました。ちなみにパソコンなんてないので事務員さんも3人は常にいました。それだけ売れば伝票の数も計り知れない枚数だったことが想像できます。



## <月末の請求書作成は戦争>

月末の請求書の作成は戦争だったそうです。紙の納品書を基に手書きで1件1件請求書を作成します。たい焼きブームは昭和50年から続き10年以上はこの売上規模を保つこととなります。子供向け番組でヒットした曲の影響に驚くエピソードです。この当時、私は0歳から10歳でした。既に会社は今の建物に引っ越しを済ませて私は倉庫の2階で生活がスタートしました。階下に降りると事務所と食材が常にある環境で育ちました。母親からは「あの曲で会社は助けられた」としょっちゅう聞かされたのもこの頃です。昭和の匂いがまだまだ残る記憶です。来週はその頃のトレンドについて書き綴りたいと思います。今では完全にアウトなことが盛り沢山です(笑)

## <今月は9月の当選番号確定！！>

2022年3月からスタートした納品書番号のおみくじです！今一度、ルールのご説明。納品書の番号が抽選対象の数字です。下の番号と一致した場合、納品書の金額から10%オフします。自動的にオフはしません。お客様から「当選しました！」とメールか電話、LINEでご連絡をいただくと確定です。**申告の締切は翌月の1日が締め切りです。「52750」「52772」「52881」最後のチェックを忘れずに！！**



株式会社豊吉 LINE 注文アカウント



キッチンカー開業セミナー



豊吉公式 Twitter



株式会社豊吉ホームページ